

「研究通信」総目次（第1～30号）

号数	発行年月	事務局	頁数
第1号	一九五三・四	東京教育大学社会学研究室	8
		東京大学文学部社会学研究室	
		村落社会研究会の発足にあたり	有賀喜左衛門
		発足に期待する	島崎 稔

総合的村落調査を

村落社会研究会会則

会員名簿

甲田 和衛

第2号 一九五三・四

東京教育大学社会学研究室

6

東京大学文学部社会学研究室

「研究通信」への期待

寸言

喜多野清一

中島龍太郎

山本 登

第3号

一九五三・五

東京教育大学社会学研究室

8

東京大学文学部社会学研究室

走り百姓

宿題委員会報告を読み

研究促進のために

前回宿題委員会報告に関連して

武田 良三

大藪 寿一

川越 淳二

松原 治郎

第4号

調査の標準化

年報について

宿題と我々の夏の調査計画について

地方からの希望

第5号

東京大学社会学研究室

村落社会研究会の年報及び宿題に関する拡大委員会報告

宿題のきめ方について、其他

名もなき神々

有賀喜左衛門

内藤 莞爾

第6号

東京教育大学社会学研究室

7

仙台大会を前にして

仙台大会予報

仙台大会共同討議のもち方について

拡大宿題委員会に出席して

会員の通信

喜多野清一

後藤 和夫

森住 伍郎

木原健太郎

第7号

一九五三・一一 東京大学文学部社会学研究室

10

宿題と大会に関する二つの意見

方法主義へ

第一回大会の印象と若干の希望

妄言多謝

村研仙台大会印象記

雑感

第一回村研大会を顧みて

仙台以後——第一回村研大会に寄す

研究室にもどって

内藤 莞爾

山本 登

内山 政照

大藪 寿一

皆川 勇一

原 宏

高倉 又二

川越 淳二

第8号

東京大学文学部社会学研究室

村研第一回大会出席所感

第一回集会後の感想

村落社会研究会に出席して

宿題と大会についての希望

漁村社会の研究

書簡

大山 彦一

島田 隆

斉藤 兵市

島崎 稔

山岡 栄市

生田 靖

第9号	一九五四・	東京大学文学部社会学研究室	関 清秀
	年報と宿題について		2
	質問と感想	有賀喜左衛門	
第10号	一九五四・	東京大学文学部社会学研究室	4
第11号	一九五四・	東京大学文学部社会学研究室	4
	再び年報と宿題について	有賀喜左衛門	
	Neighborhood-Community Relation in Rural Society by John H. Koib and Douglas G. Marshall; Reseach Bulletin 154.1944.	島崎 稔	
	ひとつの紹介—ウイスコンシン大学農業試験所のおこなってきた調査研究について—	松原 治郎	
第12号	一九五四・九	東京大学文学部社会学研究室	4
	第二回大会を前にして	有賀喜左衛門	
	来年度の課題とその研究の方法について	福武 直	
	村研の運営について	有賀喜左衛門	
	待望の村研年報第一輯発刊近しノ		
第18号		東京大学文学部社会学研究室	4
	農林省の行方部落調査について	内山 政照	
	提案と註文	生田 清	
第14号		東京大学文学部社会学研究室	4
	大会批判と提案	後藤 和夫	
	通信	木下 彰	

		共同課題について	有賀喜左衛門
		農村人口問題	大内 力
		次の共同課題について	中野 卓
第15号		東京大学文学部社会学研究室	4
	通信 I	生田 清	
	通信 II	八木 佐市	
第16号	一九五五・八	東京大学文学部社会学研究室	6
	新らしい発展へ	喜多野清一	
	本年度課題への着眼点	中島龍太郎	
	雑感 地方研究と現地協力者	竹内 利美	
	思いつくまゝに	山岡 栄市	
	旧版 人工雨	内藤 莞爾	
	天草漁村と軋子役	中村 正夫	
第17号	一九五五・一〇	東京大学文学部社会学研究室	4
	農村過剰人口の概念についてのノート	小池 基之	
	村落社会の研究と社会学	井森 陸平	
	出版を前にして	塚本 哲人	
	事務局は「まわりもち」で	一事務局長	
第18号	一九五五・一二	東北大学教育学部研究室	8
	知識を全体のものに	有賀喜左衛門	
	豊富な事実にもとづく厳正な検証を	R・P・P・ア	
	充全の準備を	喜多野清一	

一つの提案——大会の運び方について

大阪大会以後

基礎概念への志向を

調査技術の検討

資料と分析と実践と

別案I 一九五六・四 東北大学教育学部研究室

第三回共同討議記録

第19号 一九五六・五 東北大学教育学部研究室

共同研究前進のために

「村落構造の史的分析」と村落研究の課題

一つの提案

第20号 一九五六・一〇 東北大学教育学部研究室

本年度大会に望む

渡塚通信

第21号 大阪市大社会学研究室

本年度大会を顧みて

課題について

ブラジル調査行雑感

ヨーロッパ掃き寄せ

第22号 一九五七・三 大阪市大社会学研究室

福武 直

原 宏

矢木 明夫

西田 春彦

14

井森 陸平

矢木 明夫

山岡 栄市

6

川越 淳二

大内 力

山本 登

竹内 利美

有賀喜左衛門

8

小池 基之

原 宏

塚本 哲人

有賀喜左衛門

11

一つの展望

会員動向(アンケートから)

第23号 一九五七・五 大阪市大社会学研究室

「兼業化」の提案

偶感

通信

会員動向(其の二)

共同体研究と分業論

第24号 一九五七・八 大阪市大社会学研究室

通信

本年度大会の成功のために

二、三の提案

第25号 一九五七・一一 大阪市大社会学研究室

町村合併調査と共同体論の検討

対島の村——上県郡船越村縮方

第26号 一九五八・三 愛知大学社会学研究室内

昨年の大会と今年の大会

鹿兒島にて 村落共同体と政治権力

基本概念の検討

第27号 一九五八・六 愛知大学社会学研究室内

社会学における二、三の問題について

——一九五八年村研大会感想として——

一九五七年大会の総括討論会雑感

竹内 利美

有賀喜左衛門

川越 淳二

竹内 利美

山室 周平

中野 卓

福武 直

森岡 清美

鈴木 広

平山敏治郎

福武 直

松原 治郎

山岡 栄市

布施 鉄治

島田 隆

6

6

6

6

6

6

6

6

一つの視角

今年の大会を前に

第28号 一九五八・七 愛知大学社会学研究室

ある感想

大会開催地に関する会員の意見

第29号 一九五八・九 愛知大学社会学研究室

村落共同体——歴史学

私の聞きたい諸点

第六回大会プログラム

第30号 一九五八・一二 中央大学文学部社会学研究室

共同討議の感想——社会学の立場から——

今年の大会をかえりみて

大会雑感

鳴子から帰って

中島龍太郎

原 宏

島崎 稔

10

中村 吉治

喜多野清一

8

田原 音和

矢木 明夫

内藤 莞爾

原 宏